

抑留年数で」 5
たロシア人女性」 6
包囲の中で」 6

発行 日本ユーラシア協会
〒156-0052 東京都世田谷区経堂1-11-2
電話: 03-3429-8231 FAX: 03-3429-8233
郵便振替: 00190-6-71351 銀行振込: 三井住友銀行経堂支店(当) 1080052
《毎月15日発行》昭和26年9月11日 第三種郵便物認可
JAPAN-EURASIA SOCIETY No.11-2, 1chome, Kyodo,
.Setagaya-ku, TOKYO, JAPAN E-Mail: info@jp-euras.org
定価・1ヵ月400円(〒70円)(=会費の中に含まれる)

テーマに向き合い発表

第53回全国ロシア語コンクール

第53回全国ロシア語コンクール(日本ユーラシア協会・東京ロシア語学院主催)が、7月13日、東京ロシア語学院2階ホールで開催された。初級部門5名、一般部門9名が参加、藻利佳彦審査員長ほか5名によって審査された。午前中には、音楽や踊り、詩などを披露するアトラクションも開かれ、1階では、協会や図書館によるバザーも行われた。

2面に関連

斎藤治子日本ユーラシア協会会長の挨拶で始まったコンクール。今回の参加者は、前回大会に比べると人数は少なくなつたものの、それぞれがロシア語を通じて自らが設定したテーマに向き合い、自分の考えを発表することで、内容の点からも聞きこたえのある熱戦が繰り広げられた。

初級部門第1位は宮内和嘉奈さん(創価大学3年『美しいロシア』、第2位は鎌田倫さん(青森南高校3年『私の魅力』、第3位は岡本英寛さん(関東国際高等学校2年『私のリベンジ』)となつた。一般部門では昨年3位の雪辱を果たした岩岡正悟さん(東京外国語大学3年『去年の自分へ』)が



優勝一般部門は岩岡正悟さん(東外大3年生)

東京ロシア語学院生に奨励賞

優勝、第2位に尾迫志央理さん(公務員『ロシア語学習のおかげで心に残っている人々の顔』、第3位には佐原結菜さん



入賞者の声

★一般部門
第1位 岩岡正悟さん
(東京外国語大学)

去年は3位だったが、スピーチに去年と関連がある内容を選んだので、3位より上をとれてよかった。

出会いに感謝を

前回に続き、両部門ともにほぼ全員が原稿を暗記してスピーチに挑んでいたのはとても良かったが、その反面制限時間(初級3分、一般5分)を大幅に超える出場者が全体の半分ほどおり、中には1・5倍から2倍の時間がかかった人もいた。時間内にスピーチを終える

佐川紅実子

(東京ロシア語学院講師)

たために準備することは当然ながら、公平性の観点からも来年は運営側の対策も必要と思われる。

また、ウクライナをめぐる情勢が膠着状態となり、ロシア及びロシア語をめぐる状況は厳しいままであるということが、スピーチの中で留学先としての力ザフスタンが複数回登場したことに象徴されているようだった。

ともあれ、このような中でもロシア語でのスピーチコンテストに出場を決意し、準備をして参加してくれる方々がいることはロシア語学習に携わる者の一人としてとても勇気づけられる。

佐川紅実子

つた。(新しい大学で留學生たちと出会うって蕎麦を食べたということや、原稿を書くのを助けてくれた人たち、その人たちがいてくれて本当にありがとということ伝えてきたかった。この気持ちが一番最初に来る。

佐川紅実子

出会いに感謝という気持ちがある。函館で出会った先生(コミュニケーションの肝を教えてください)との出会い、場所が移っても(以前学んだ)教えるは生きていて、次の、ロシアだけでなく、ドイツやブラジルの友人との新しい出会いが生まれている。これからのいろいろな人と出会えたらいいなという気持ちでいる。

卒業後の進路は未定だが、今年9月に(在学のまま)在外公館派遣員の募集に応募する予定。もし行くことになったら2年間過ごすことになる、そこでまたどんな出会いがあるか、何か見えてく

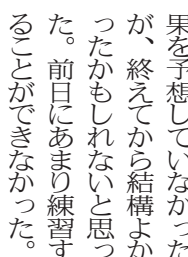


めるために企業に就職した。その後2022年にモスクワ大学が国際関係大学に留学しようとしたがウクライナ侵攻があり、イギリスのロシア関係の研究所に留学して修士号を取り、今年から公務員として勤務している。



ロシア語は大学入学後に始めた。(スピーチにあったピアノの先生は日本人で、ロシアでロシアの奏法を勉強された方。(ピアノではなくロシア語を勉強することにした

神戶市外国語大学でロシア語専攻、2020年に卒業し、ロシア情勢、政治に関心があるため、モスクワ大学の修士課程に行きたかったが、コロナ禍があり留学資金を貯



カザフの話あって嬉しい。とてもうれしい。スピーチをするまではこの結果を予想していなかったが、終えてから結構よかったかもしれないと思った。前日にあまり練習することができなかった。

★奨励賞 影山太朗さん
(東京ロシア語学院)

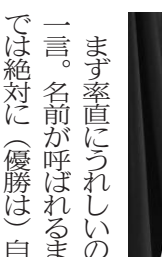
前日に出かけたライブ会場でスピーチ内容に関わる人に会ったので、気持ちのよかったのだと思う。質問ではスピーチをしていてときよりも緊張したけれど、質問の意味も分かって、答えられてよかった。他の人たちのスピーチでは、カザフスタンについて話している人が多くてうれしかった。



まずは率直にうれしい一言。名前が呼ばれるまでは絶対に(優勝は)自分じゃないと思っていたので、反面、私でよかったのかと思った。(スピーチで)話しながら自分の

関係の仕事に就くことは難しいかもしれないが、転職など、どういう形で触れることになるのか分からないので、ロシアとの縁は忘れずに今後も学んでいきたいと思う。

第2位 尾迫志央理さん(公務員)



仕事と準備両立大変。せつかく出るなら入賞したいと思っていたので、2位という高い順位をとれてすごく嬉しい。仕事の傍らロシア語の勉強をしてスピーチの準備をするのは、結構大変だったので報われてよかった。

第3位 佐原結菜さん(東京外国語大学)



将来は教育の仕事に就きたい。ロシア語で英語ではあるが北方領土問題について扱ったこともあり、研究もしたいが、実務にも興味がある。



コンクールに参加したのは、そうでもないという仕事で忙しくてロシア語の勉強をしなくなってしまうから。スピーチの原稿は締め切りの1日前に完成した。将来はロシアや旧ソ連諸国の大使館で勤務してみたい。また、修士論文で英語ではあるが北方領土問題について扱ったこともあり、研究もしたいが、実務にも興味がある。

★初級部門
第1位 宮内和嘉奈さん(創価大学)

ロシアとの縁忘れず。ロシア語をやると思う。将来は(大学ではロシア語の教員免許は取れないので)英語の教員免許を取り、ロシア語は趣味として続けたい。

◆申し込み: 8月10日まで下記の専用WEBサ

◆Zooom参加用リン

oocan.jp/

◆Zooom参加用リン

◆Zooom参加用リン

◆Zooom参加用リン